



▲ 片山会長が議事を進める総会の模様

アンクルモール協会（会長：片山一・五洋建設㈱執行役員営業本部副本部長）は2月24日インテリジェントロビー・ルコ（東京都新宿区揚場町）において第30回定時総会を開催した。

片山会長は総会の冒頭あいさつで「建設業界は東日本大震災の復興事業や政府の掲げる国土強靱化、さらには2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴うインフラ整備事業などにより各社好調な決算予測を発表している。しかし、建設産業従事者の人手不足や建設資材の高騰など、またポストオリンピックといわれる2020年以降の動向を考えると不安材料も多く厳しい状況に変わらない」と前置きし、当協会の昨年の事業展開として「アンクルモール各工法、パイプルーフ工法以外に集中豪雨による都市型浸水対策事業の対応として呼び径1650～3000のアンクルモール大口径工法の普及を目指してきた。大阪において、土木学会継続教育（CPD）として開催

したアンクルモール工法設計積算研修会には156名の参加をいただき、同工法の注目の高さを示している」とし今年度は「技術資料等の改訂と新工法の提供をはじめとした信頼される技術を提供する協会を目指し、協会をさらに発展させたいと思う。会員各社のさらなるご支援をお願いしたい」とあいさつを締めくくった。

平成27年度事業報告では、土木学会の継続教育（CPD）プログラム認定を受けた同工法設計積算研修会を大阪で開催。下水道展'15東京（7月28日～31日、東京ビッグサイト）への出展。さらに役所ならびにコンサルタントへの出張説明および設計積算や推進力算定、流量算定、物質収支などの各計算等の支援を行ったことなどの事業報告とそれに伴う決算報告が審議され、満場一致で可決承認された。

今年度事業計画では①調査研究事業：工事の実態調査を行い、各工法の改善改良と周辺機器の開発



▲「信頼される技術を提供する協会に」とあいさつする片山会長

などの検討②研修会講演会事業：積算資料を国土交通省に合わせた改定を進める。下水道事業、推進工法に関する講演会や積算資料の解説の研修会を行う。例年通り土木学会の継続教育（CPD）プログラム認定を受けた内容で5月末に東京で開催する予定③出版事業：平成28年度版積算資料と施工実績はホームページ（<http://www.unclemole.jp/>）のみでの公開④普及事業：工法説明、設計積算の支援を可能な限り行う⑤下水道展'16名古屋（7月26日～29日、ポートメッセなごや）への出展。それに伴う予算案が審議され、満場一致で可決承認された。